

利用のご案内

■**開館時間**／午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）
■**休 館 日**／月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）及び
年末年始（12月29日から1月1日まで）
ただしGW中（4月29日[火]～5月6日[火]）は無休

■**臨時休館**／**4月8日[火]～4月10日[木]、7月3日[木]～7月15日[火]、
9月2日[火]～9月7日[日]、11月20日[木]～11月28日[金]、
12月16日[火]～12月19日[金]**

■**入場料**（ ）内は20名以上の団体料金

展覧会名	一般	満70歳以上	高校生	小中生
キース・ヘリング展	1,360円 (1,240円)	680円 (620円)	1,130円 (980円)	550円 (420円)
アーツ・アンド・クラフツと デザイン	1,360円 (1,240円)	680円 (620円)	1,130円 (980円)	550円 (420円)
旅にまつわる絵とせとら	820円 (690円)	410円 (340円)	550円 (420円)	270円 (200円)
企 画 展 安野先生のふしぎな学校	1,240円 (1,130円)	620円 (560円)	980円 (820円)	550円 (420円)
令和7年度 茨城県芸術祭美術展覧会	800円 (720円)	800円 (720円)		無料
第14回現代茨城作家美術展				無料
藤田嗣治 絵画と写真	1,360円 (1,240円)	680円 (620円)	1,130円 (980円)	550円 (420円)
所蔵作品展	360円 (270円)	180円 (130円)	270円 (200円)	200円 (140円)

※**企画展をご覧の方は、同日中に限り所蔵作品展が無料になります。**

※**土曜日は、高校生以下は無料です（中学生の方は生徒証をご持参ください）。**
ただし、夏季・冬季及び学年末・学年始における学校の長期休業日に
当たる期間は除きます。

※**茨城県民の日（11月13日[木]）はすべての方が無料です。**

※**以下の方は無料で展覧会をご覧いただけます。**

- ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内所在の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者、教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内幼稚園の幼児の引率者
- ・国際交流事業として、国外から本県内の学校等に留学している方
- ・児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設、老人福祉法の規定に基づく老人福祉施設及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の規定に基づく障害者支援施設に入所している方並びに付き添いの方（1人につき付き添い1人まで）
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方（1人につき付き添い1人まで）
- ・生活保護法による扶助を受けている方

※**満70歳以上の方が無料となる高齢者無料入館日は次のとおりです。**

- ・アーツ・アンド・クラフツとデザイン：4月19日[土]
- ・旅にまつわる絵とせとら：7月19日[土]
- ・安野先生のふしぎな学校：9月15日[月]～9月21日[日]
※9月16日[火]は休館
- ・藤田嗣治 絵画と写真：2月14日[土]

県立美術館共通年間パスポート（購入日より1年間有効）

一般3,550円・高校生2,370円・小中生1,180円

茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館の各美術館が主催する展覧会で、1年間に何回でもご利用いただけます。ただし、茨城県芸術祭美術展覧会（近代美術館）、貸しギャラリー展（つくば美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館）は除きます。

友の会

**【年会費】 一般3,000円、学生2,000円、ファミリー会員5,000円、
特別会員（個人・法人）20,000円**

茨城県近代美術館と茨城県天心記念五浦美術館共通の会です。両館主催の展覧会はいずれも無料。美術館の企画展やイベント、友の会独自の催し物のご案内をお送りします。その他の特典や申込方法は、友の会事務局までお問い合わせください。

交通のご案内

【電車・高速バスをご利用の場合】

■**水戸駅まで**

- 電 車／①東京駅からJR常磐線特急で約1時間15分
②宇都宮駅からJR宇都宮線・JR水戸線で約2時間
③いわき駅からJR常磐線特急で約1時間

- 高 速 バス／①東京駅八重洲南口バスターミナルから約2時間
②茨城空港から約40分

■**水戸駅から**

- 徒 歩／水戸駅南口から約20分
○バ ス／水戸駅北口⑧番または南口②番（平日のみ）のりばから乗車約5分、「文化センター入口」にて下車

○タ ク シー／水戸駅南口から約5分

【車をご利用の場合】

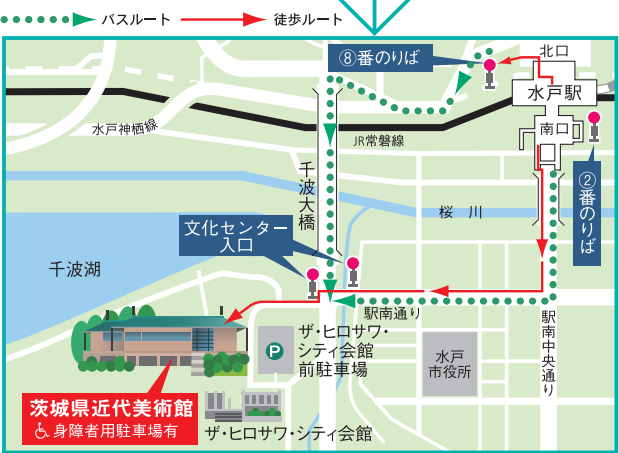
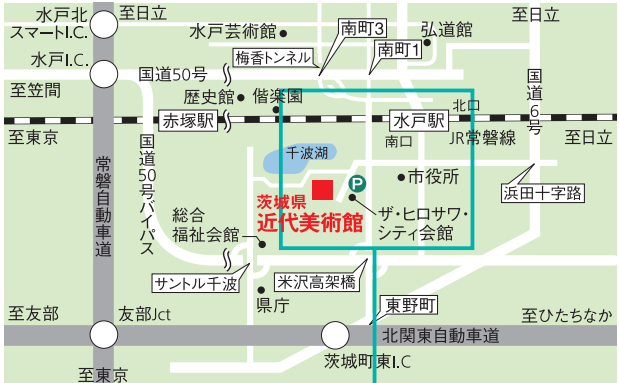
常 磐 自 動 車 道／水戸ICから約25分、水戸北スマートICから約20分
北関東自動車道／茨城町東ICから約15分

■**駐車場ご利用**

当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場P」をご利用いただけます。

駐車料金：普通車420円／マイクロバス840円／大型バス1,570円

※当館受付でお渡しする駐車サービス券で精算いただくと、駐車料金が無料となります。満車でおとめいただけない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1
TEL:029-243-5111 FAX:029-243-9992

E-mail: info@modernart.museum.ibk.ed.jp

URL https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/



HP



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube



当館の普及・広報事業は宝くじの収益金で実施されています。

2025年3月発行

茨城県近代美術館 展覧会・イベント スケジュール 2025年4月—2026年3月

The Museum of Modern Art, Ibaraki Exhibition Information

Apr. 2025 → Mar. 2026

アーツ・アンド・クラフツとデザイン
ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで
2025.4.19～6.29



ウィリアム・モリス
「いちご泥棒」1883年
Photo ©Brain Trust Inc.

**旅にまつわる
絵とせとら**
2025.7.16～8.31



吉田博「槍ヶ岳」
1921-26年
当館蔵

安野光雅美術館コレクション
安野先生のふしぎな学校
2025.9.13～11.16



安野光雅「かげぼうし」より
1976年
©空想工房
画像提供：
津和野町立安野光雅美術館

藤田嗣治 絵画と写真
2026.2.10～4.12



ドラ・カルムス
「猫を肩にのせる藤田嗣治」

施設紹介

茨城県近代美術館は、1988(昭和63)年、偕楽園の眼下に広がる千波湖のほとりに開館しました。
2階には企画展示室、1階には所蔵作品展展示室及びアートフォーラム、地階には講堂や講座室があり、さまざまな展覧会やイベントを行っています。また、館内はバリアフリーに配慮したつくりになっているほか、ミュージアムショップやレストランもありますので、安心して楽しくご利用いただけます。

■**アートフォーラム**

子どもから大人まで楽しめる無料のスペースです。

【**展示・創作コーナー**】

企画展関連コーナーや創作コーナーなどを展開します。

【**映像コーナー**】

所蔵作品の紹介映像や、描いた絵が動き出すデジタルアートも楽しめます。

【**図書コーナー**】

美術関係の図書や雑誌を閲覧いただけます。

■**中村^{つむ}森アトリエ**

大正期に活躍した水戸市出身の洋画家中村^{つむ}森(1887-1924)の東京都新宿区下落合にあったアトリエを、当館敷地内に新築復元し、公開しています。

【**開室時間**】

火～金曜日:午後1時～午後3時
土・日・祝日:午前10時30分～午後3時

【**休室日**】

当館休館日に同じ

*そのほか臨時に休室する場合があります。



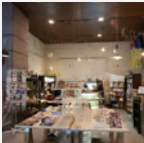
エントランスホール



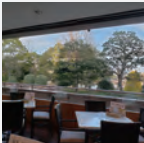
アートフォーラム



中村森アトリエ



ミュージアムショップ



レストラン

イベント紹介

年間をととして様々なイベントを実施しています。

■**講演会**

展覧会ごとに多彩な講師をお迎えして開催します。

■**企画展鑑賞講座・ギャラリートーク**

企画展の見どころを当館学芸員をご紹介します。

企画展チケットをご用意ください(ギャラリートークの場合)。

■**ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション**

所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。所蔵作品展チケットをご用意ください。

【**実施日**】毎月第3土曜日

*都合により第3土曜日以外の日程に変更になる場合があります。

【**時間**】午前11時～(約30分)

■**コレクションミニガイド**

展示解説員が、所蔵作品展をわかりやすくご案内しています。

所蔵作品展チケットをご用意ください。

【**実施日**】所蔵作品展のみの期間中 【**時間**】午前10時～(約20分)

■**家族でわくわくミュージアム**

乳幼児・小学生を含むご家族で楽しむ、対話型の作品鑑賞会です。

各所蔵作品展会期中に3回程度開催。

所蔵作品展チケットをご用意ください。

■**オリエンテーション**

団体(20名以上)でご来館の際には、展覧会見学前に当館について簡単にご案内します。ご希望の場合は事前にご連絡ください。

■**ミュージアムコンサート**

講堂またはエントランスホールにて、不定期で開催しています。

■**子どものためのオープンワークショップ**

子ども向けのワークショップを年2回開催します。



企画展鑑賞講座



ミュージアムコンサート



子どものためのオープンワークショップ

展覧会のご案内
 Exhibition Information
 [2025.4～2026.3]

企画展
 茨城県近代美術館

4月 Apr	5月 May	6月 Jun	7月 Jul	8月 Aug	9月 Sep	10月 Oct	11月 Nov	12月 Dec	1月 Jan	2月 Feb	3月 Mar
--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------

キース・ヘリング展
 アートをストリートへ
 →4月6日(日)

アーツ・アンド・クラフツとデザイン
 ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで
 4月19日(土)→6月29日(日)

19世紀後半のイギリスでおこった、ウィリアム・モリス(1834-96)らによるデザイン運動、アーツ・アンド・クラフツの歩みを紹介する展覧会。イギリスから各地へと広まったこの運動は、アメリカでは建築家フランク・ロイド・ライト(1867-1959)らが参加し、新たな展開を見せます。本展では、テキスタイルや工芸品など約170点を通じて、アーツ・アンド・クラフツ運動の魅力と広がりを紹介します。



ティファニー・スタジオ
 「三輪のリリーの金色ランプ」
 1901-25年

Photo ©Brain Trust Inc.

旅にまつわる絵とせとら
 7月16日(水)→8月31日(日)

誰もが日常を離れ、ふと旅に出たくなる時があるように、多くの画家たちも様々な場所へ赴き旅をしました。本展は、江戸時代の名所絵や絵双六をはじめ、風光明媚な景勝地を描いた風景画など、現代にいたるまでの「旅にまつわる絵」をテーマとした展覧会です。あわせて画家によるスケッチ、画文集といった旅にまつわるエトセトラもご紹介します。



横山大観「水國之夜」1911年頃
 当館蔵

安野光雅美術館コレクション
 安野先生のふしぎな学校
 9月13日(土)→11月16日(日)

島根県津和野出身の画家、安野光雅(1926-2020)は、独自の世界観からなる絵本が国内外で高く評価されているほか、装丁デザインや執筆活動など幅広い分野で活躍しました。本展では、安野が画家として独立する前の教員時代に着目し、多彩なジャンルの作品を学校の授業科目に見立ててご紹介します。



安野光雅「ふしぎなりのり」[はじめてであううがくの絵本1]より 1982年
 ©空想工房 画像提供:津和野町立安野光雅美術館
 ※「安野先生のふしぎな学校」はパートナー企業からのご支援をいただいております。

令和7年度
 茨城県芸術祭美術展覧会
 11月29日(土)→12月14日(日)

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合会等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン各部門の入選作品を展示します。

※書・写真部門は、11月15日(土)から11月30日(日)までザ・ヒロサワ・シティ会館で展示します。

第14回現代茨城作家美術展
 1月10日(土)→2月1日(日)

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書・写真・デザインの各部門で活躍している現代の茨城を代表する作家たち100人の作品100点を展示します。現代茨城県内の芸術文化の発展に寄与し、併せて新人の台頭を促すために隔年で開催しています。

藤田嗣治 絵画と写真

2月10日(火)→4月12日(日)

エコール・ド・パリを代表する画家・藤田嗣治(1886-1968)。早くからカメラを愛用していた藤田は数千点の写真を撮影するとともに、絵画制作にも活用しました。また、パリで時代の寵児となった藤田はオカッパ頭や眼鏡など独特の風貌によって自己のイメージを演出し、しばしば著名な写真家の被写体にもなりました。本展では藤田の絵画と写真との関係性をひもときながら、その表現について再考します。



藤田嗣治「猫を抱く少女」1949年、個人蔵(名古屋市美術館寄託)
 © Fondation Fougita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5886

日本の近代美術と
 茨城の作家たち
 冬から春へ
 →4月6日(日)

日本の近代美術と茨城の作家たち 春から夏へ
 〈前期〉4月11日(金)→ 5月25日(日)
 〈後期〉5月27日(火)→ 7月2日(水)



オーギュスト・ノール
 「マドモワゼル・フランソワ」
 1917年



佐藤忠良「帽子」
 1981年

木村武山
 須磨御殿杉戸絵
 →4月6日(日)

小堀進と水彩画の魅力
 4月11日(金)→7月2日(水)



小堀進「虹」1974年

日本の近代美術と茨城の作家たち 夏
 7月19日(土)→8月30日(土)



岸田劉生「窗外夏景」
 1921年

流動と痕跡
 間島秀徳の作品を中心に
 7月19日(土)→8月30日(土)



間島秀徳「Kinesis No.778 (cosmic island)」
 2023年

日本の近代美術と茨城の作家たち 秋
 〈前期〉9月9日(火)→ 10月13日(月・祝)
 〈後期〉10月15日(水)→11月19日(水)



小川芋銭「因指月」
 「河童百図」より
 1937年
 ＊前期のみ展示



菱田春草「落葉」
 1909年
 ＊後期のみ展示

絵画／窓／鏡
 一絵の中の空間―
 9月9日(火)→
 11月19日(水)



長谷川潔
 「長谷川潔の肖像 窓からの眺め」
 1963年

日本の近代美術と茨城の作家たち 冬
 12月20日(土)→2月15日(日)



佐伯祐三「コルドヌリ(靴屋)」
 1925年頃

茨城の洋画家 辻永
 12月20日(土)→2月15日(日)



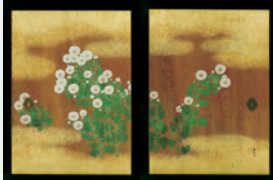
辻永
 「画房の一日」
 1931年

日本の近代美術と茨城の作家たち 春
 2月19日(木)→次年度



那波多目功一「寂光」
 2013年

木村武山 須磨御殿杉戸絵
 2月19日(木)→次年度



木村武山「須磨御殿杉戸絵 秋草園・白菊園のうち」[白菊園]
 1918-19年頃

所蔵作品展
 横山大観と中村彝の作品にいつでも出会える美術館

茨城県近代美術館では、近代にふさわしい新しい日本画の創出に生涯を捧げた横山大観と、病に冒されながらも描くことへの欲求に突き動かされるかのように短い生涯を駆け抜けた洋画家中村彝という、日本の近代美術に大きな足跡を残した二人を中心に、茨城ゆかりの芸術家の作品を収集しています。

さらに大観や彝の画業を語る上で欠くことのできない印象派をはじめとする西洋近代美術や、日本の近代美術を彩ってきた芸術家の作品を明治から現代まで幅広く網羅したコレクション約4,300点を、所蔵作品展で順次紹介しています。

第一展示室「日本の近代美術と茨城の作家たち」では、横山大観や北茨城の五浦で大観と共に切磋琢磨した下村観山、菱田春草、木村武山ら「五浦の作家」、国内随一の作品所蔵数を誇る中村彝、大観や彝をはじめとする日本の芸術家に大きな影響を与えたクロード・モネやオーギュスト・ルノワールらの西洋近代美術などについてそれぞれコーナーを設置し、茨城ゆかりの作家を含む日本の近代美術と共に、季節にあわせて幅広く紹介しています。

第二展示室では毎回テーマを設定し多様な作品の魅力を発信しています。特に今年は、かすみがうら市を拠点に活動する間島秀徳の作品を中心とした展示や、ともに没後50年を迎えた潮来出身の水彩画家小堀進、水戸出身の洋画家辻永の特集展示などを開催します。



中村彝
 「カルピスの包み紙のある静物」
 1923年



クロード・モネ「ボール・ドモワの洞窟」1886年

※今年度の展示については、当館ホームページをご確認ください。



横山大観「流燈」1909年

他館インフォメーション

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
 TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711
 URL https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/

茨城県つくば美術館

〒305-0031 つくば市吾妻2-8
 TEL:029-856-3711 FAX:029-856-3358
 URL https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
 TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012
 URL https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

茨城県天心記念
 五浦美術館

企画展

奥原晴湖と
 近代の南画
 →4月20日(日)

浮世絵展―隅田川でたどる
 江戸の暮らしと文化―
 4月26日(土)→6月8日(日)

再興第109回院展
 茨城五浦展
 6月21日(土)→
 7月21日(月・祝)

グルメ展
 一食、自然、豊かなアート―
 7月26日(土)→8月31日(日)

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展
 ～お化けたちはこうして生まれた～
 9月12日(金)→10月26日(日)

パステルカラーな気分
 11月1日(土)→12月20日(土)

体験プログラム
 日本画ってなあに？
 1月2日(金)→2月8日(日)

生誕150年記念 木村武山展
 2月11日(水・祝)→次年度

茨城県
 陶芸美術館

企画展

ティーカップ・メリーゴーラウンド
 ヨーロッパ陶磁器にみるモダンデザイン100年
 岐阜県現代陶芸美術館コレクション
 →6月22日(日)

THE HEADLINERS 2025
 7月12日(土)→11月30日(日)

吉田璋也のデザイン
 一新作民藝運動(仮称)
 3月14日(土)→次年度

※日程や内容などが一部変更になる場合がありますが、あらかじめご了承ください。